

# NEWS RELEASE



2023年1月31日

## 2023年春「ツルハ関東物流センター」新設・移転 ～省力化・省人化に向けた最新物流機器搭載で安全で働きやすい環境整備を実現～

株式会社あらた（東京都江東区、代表取締役社長執行役員：須崎裕明）は、2023年春「ツルハ関東物流センター」（千葉県八千代市大和田新田）を新設・移転致します。

当社は同場所にて、2009年5月より株式会社ツルハホールディングス様専用センターを運営しております。このたび同敷地内に建設する日本GLP株式会社のBTS（ビルド・トゥ・スーツ）型物流施設に移転し、同事業を継続致します。

新センターでは、主にケース出荷能力において生産性を強化し、必要人員15%減で出荷能力を36%増強、生産性としては1.6倍となる省力化センターを実現いたします。

当社としてのSDGsへの貢献はもちろんのこと、ツルハホールディングス様のサステナビリティ方針にも沿った物流センターとなっております。

当社は今後も、AIなどを駆使した最新鋭マテハンを装備し、労働力不足に対応し、働く従業員にも優しい省人化センターを配置することで、変化する人々の暮らしに寄り添い、いつ・どんなときも必要な商品をお届けしてまいります。

### 【施設概要】

所在地：千葉県八千代市大和田新田 686-4

延床面積：約49,000㎡



## 【新センターのコンセプト】SDGsの各目標へ貢献

### ① 労働力不足に対応した省人化センター実現（ダイフク社との協働）

AIを駆使した最新鋭マテハンを装備。省力化にもつなげ、パート従業員の多くを占める女性が働きやすい作業環境の構築を目指します。



### ② 既存センター使用の物流機器、備品を最大限再利用

既存センターのマテハン機器のうち、他のセンターに移管して利用可能なもの、他のセンター設備増強に活用できるものについては積極的にリユースし、“つかう責任”を果たします。



### ③ BCPを強化

当センターを建設する八千代市は下総台地の安定した地盤上に位置し、地震に対して地盤が強固であるとともに、ハザードマップにおいて液状化や浸水の想定外地域であり、防災面でも優れた物流適地です。

また、設備や体制の増強により災害時にも止まらない物流を実現します。

- 在庫保有能力 従来比 **25%**増
- 止まらない物流（BCP対策）
  - ・ 非常用発電設備
  - ・ 近隣の第2センターと相互補完体制
  - ・ 代替サーバーの自動切替えによる無停止システム



### ④ 再生可能エネルギーの取り組み(日本G L P社との協働)

当センターの屋根全面に太陽光発電設備を導入します。

太陽光発電(パネル容量:1033.56kW)は館内消費とし当センター使用電力の約15%を供給します。



以上